

エマージング債券アップデート(現地通貨建て)

情報提供資料 2015年1月13日



エマージング債券市場(現地通貨建て)のパフォーマンス

原油価格の低下が続き、
資源国通貨が下落

		1週間	1ヵ月	3ヵ月	1年間
トータルリターン(円評価)		0.26%	-1.81%	2.90%	9.12%
(内訳)	債券部分	1.24%	1.28%	2.37%	9.45%
	為替部分	-0.98%	-3.09%	0.53%	-0.33%

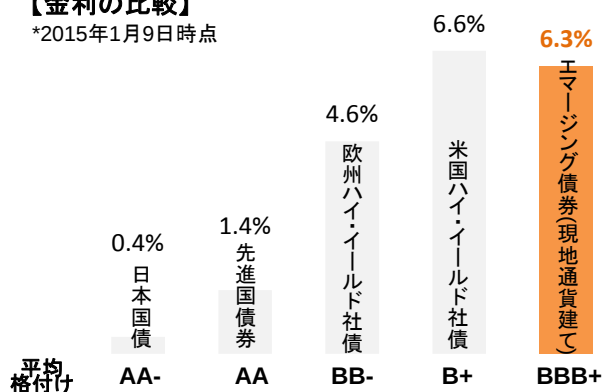
出所:ブルームバーグ 時点:2015年1月9日、エマージング債券(現地通貨建て):JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

- 先週(1月5日~1月9日)は、ロシアの原油生産増加とイラクの原油輸出増加計画を受け、世界的なエネルギー供給超過の状態は長期化すると懸念が広がり、原油価格が大幅安となり、ロシアなど資源国通貨は下落しました。
- このような動きを受け、為替部分の寄与は-0.98%となりましたが、債券部分は+1.24%寄与となり、円評価のエマージング債券市場(現地通貨建て)は週間で+0.26%の上昇となりました。

収益の源泉 ①金利

【金利の比較】

*2015年1月9日時点

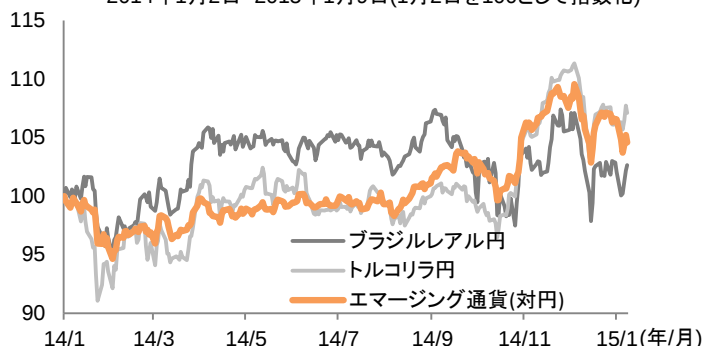


出所:ブルームバーグ エマージング債券(現地通貨建て):JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド、日本国債:シティ日本国債インデックス、先進国債券:JPモルガンGBIグローバル、欧州ハイ・イールド社債:パークレイズ汎欧州ハイ・イールド社債、米国ハイ・イールド社債:パークレイズ米国ハイ・イールド社債、エマージング通貨:JPモルガンELMIプラス(円評価)、ハイ・イールド債金利は最低利回り、それ以外は最終利回りで表示。

収益の源泉 ②為替

【為替の推移】

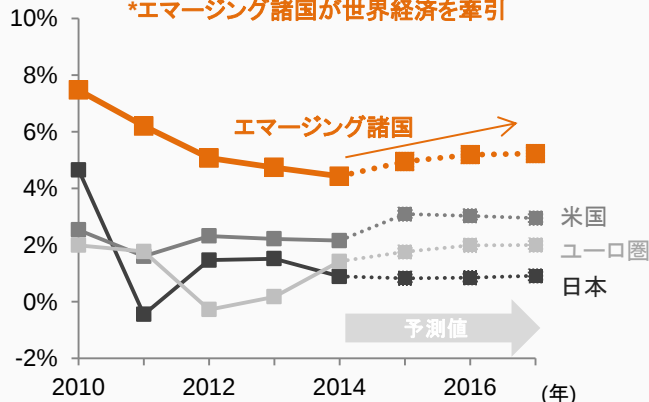
*2014年1月2日~2015年1月9日(1月2日を100として指数化)



なぜ今エマージング市場か

【GDP成長率推移】

*エマージング諸国が世界経済を牽引



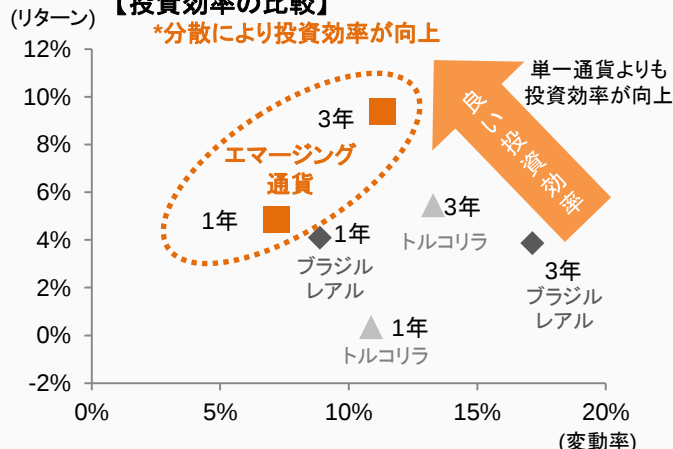
[左図]出所:IMF 時点:2014年10月

[右図]出所:ブルームバーグ エマージング通貨:JPモルガンELMIプラス(円評価、平均利回り控除後)、2014年9月末から過去1年・3年を参照

なぜエマージング市場への分散投資か

【投資効率の比較】

*分散により投資効率が向上



上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。